

満喫キナバル登山&野生動物観察8日間

■満喫キナバル登山&野生動物観察8日間プログラム

日付	地名	時間	行程<宿泊地>	食事
10/27 (土)	東京(羽田)集合	21:30頃	羽田空港国際線ターミナル集合	
10/28 (日)	東京(羽田)発 コタキナバル着 キナバル公園着	深夜 午前 午後	シンガポール航空にて、シンガポール乗継、ボルネオ島コタキナバルへ着後、市内ローカルレストランで昼軽食 その後、キナバル公園(1500m)へ(約2時間) 公園内散策など、ご自由にお過ごしください <キナバル山麓泊>	機 食 昼 夕
10/29 (月)	キナバル公園発 登山口発 山小屋着	朝 午後	朝食後、山岳ガイドと合流、公園内循環バスで登山口(1886m)へ山小屋へ向け登山開始(約6時間) 亜熱帯を思わせる山地林から背丈ほどの木が多くなる高山植生まで楽しめます また、ウツボカズラやジャクナゲなども目にすることができます 山小屋到着(3300m付近) <山小屋泊>	朝 昼 夕
10/30 (火)	山小屋発 登山小屋着	02:00頃 午前 午後	起床、山小屋にて軽食 ガイド共にヘッドランプを携行し登頂開始(約4時間) 途中、サヤッサヤ小屋(3670m)を経て、ロウズピーク(4095m)へ登頂後、山小屋へ戻り朝食(約2時間) その後、ご自由にお過ごしください。 <山小屋泊>	夜 朝 昼 夕
10/31 (水)	山小屋発 マシラウルート マシラウ着 スカウ着	早朝 午後 夜	起床、お弁当の朝食を受取り、マシラウへ向け下山(約8時間) マシラウルートは植生豊かな尾根道です 霧に包まれる事の多い雲霧林の中を進み、ランやベゴニアが多く見られるでしょう もう一つの登山口、マシラウネイチャーリゾート(約2000m)に到着 行程前半、日本の田舎を思わせる山間部の川沿いを進みます(トイレ休憩を数回挟みます) ボルネオ北部サバ州一長いキナバタンガン川のほとりのスカウ到着 <スカウ泊>	朝 昼 夕
11/1 (木)	ジャングルクルーズ スカウ滞在 植樹活動 ジャングルクルーズ	早朝 午後 夕刻	朝もやの中、ジャングルクルーズをしながら野生動物ウォッチングへボルネオ固有のテングザルをはじめ多くのサルや、サイのツノのようなくちばしを持つサイチョウなど、野生動物との遭遇が期待できます。 日中は、ジャングルウォークや河の民の生活を垣間見るスカウ村散策などをお楽しみください。失われた森を元に戻す活動の一助に、植樹活動にご協力いただきます 夕方、ジャングルクルーズでは、川岸にねぐらを決めたテングザルなどの遭遇が期待できます <スカウ泊>	朝 昼 夕
11/2 (金)	スカウ発 セピロク・オランウータン・リハビリテーションセンターへ サンダカン発 コタキナバル着	朝 午前 午後	スカウからセピロク・オランウータン・リハビリテーションセンターへ(約2時間) 森へ帰り自立する為のリハビリ中のオランウータンを観察 国内線で、コタキナバルへ 市内ホテルへ 夕食は、中華海鮮料理に舌鼓 <コタキナバル泊>	朝 昼 夕
11/3 (土)	コタキナバル発 東京(羽田)着	午後 深夜	コタキナバル発、シンガポール乗継、東京(羽田)へ 東京(羽田)到着	機 朝

※航空会社の都合や現地の事情により、一部変更になる場合がございます。

ツアーのポイント

- 日本人スタッフ同行で、安心してご参加頂けます
- ボルネオ専門店のスタッフ同行で、ボルネオの事をもっと知りたいという方
- せっかくボルネオまで行くのだから、ジャングルにも足を延ばしたい
- ボルネオならではの動物、オランウータンやテングザルを見てみたい
- 山小屋に2泊するので、初心者や体力に自信がない方も安心です
- 復路は植生豊かな尾根道マシラウルト下山です

出発日 10月27日(土) 発
日本人スタッフ同行

旅行代金 2名1室・お1人様あたり

239,000円

上記料金に別途国内空港使用料(羽田2,100円)、マレーシア空港使用料1,880円、シンガポール空港使用料1,660円、航空保険超過負担料1,510円、燃油サーチャージ35,180円、合計42,330円が必要です。(2012年7月1日現在) ※1人部屋追加料金¥34,000

〈旅行条件〉 ●発着地/羽田空港 ●利用航空会社: シンガポール航空 ●食事/朝食:6回・昼食:6回・夕食:6回 ●宿泊予定施設/○キナバル公園内ロッジ、キナバルヘリテージリゾート&スバ、キナバルパイン、セリンリゾート ●キナバル山小屋:ラバン・ラタ、グンティン・ラガダン、パナールラバン、ワラスハット ●スカウ:スカウリゾート ●コタキナバル市内:ハイアットリージェンシー・キナバル又は同等クラスホテル ●最少催行人員/8名 ●添乗員:同行しません(羽田から羽田まで日本人ツアーコーディネーターが同行します)



キナバタンガン川・ジャングルクルーズ



ボルネオ島北部サバ州を東西に貫く、大河キナバタンガン川。全長は560kmで、その下流部はラムサール条約登録地となっている。下流域は、川沿いにわずかに残された森がパッチ上になり、そこに野生動物が住んでいる。その貴重な自然において、ボルネオ島でしか見られない鼻の大きなテングザル、ツノのような口ばしの特徴の鳥サイチョウ、そして、運がよければ、野生のオランウータンやボルネオゾウとの出会いがあるかもしれない。そんなジャングルの中を流れる川へ、そっとボートを漕ぎ出す。

スカウリゾート



現地オーナーからスタッフまで、地元スカウ村のオランシガイ(川の民)による、初めてのリゾート運営。地元民族の生活を向上させ、自然保全に対する意識を高めることを目指している。オランシガイの知恵と経験、日本人の感性を組み合わせ、少しずつ進みだした。ロッジは周辺の自然環境を出来る限り壊さないように配慮されている。また部屋は、大きな窓が特徴で、中からでも自然観察が出来るようにしている。少しでも森を元に戻すお手伝いとして、ご滞在のお客さま全員に、植樹にご参加をお願いしています。

セピロク・オランウータンリハビリテーションセンター



森林伐採やプランテーション開発により棲家を追われ孤児になったオランウータンを野生に戻すプログラムを行っている。オランウータンは巣作りや木登りのトレーニングを行い、他のオランウータンと生活をともにすることで森での生き方を学んでいく。プログラムを終えたオランウータンは森に帰されるが、一日に二回、朝と夕方に給餌台にて餌が与えられるため、餌えることなく徐々に野生へと戻っていく。この給餌の様子を約10m離れた場所から見学することができる。